

社会実験の推進

社会実験は、道路交通問題の解決が期待される先進的な施策について、効果や影響の確認を行うため、期間と場所を限定して、地域の方々に試行的に施策を体験していただきながら評価を行い、本格的に導入するか否かを判断するものです。

平成 11 年度から 65 件実施し、引き続き新しい施策の導入に向け社会実験を推進しています。

テーマ	主な実験の内容	実施件数	本格実施数
道路空間の使い方	・一方通行化による歩車共存道路 ・オープンテラス・イベントなど多目的利用	18	3
公共交通機関の利用促進	・パークアンドライド ・自動車の共同利用	13	5
観光地の交通円滑化	・観光交通の流入制限、バスの運行 ・交通・観光情報の総合的な提供	9	4
自転車利用環境の向上	・レンタサイクルのシステムの導入 ・自転車通行空間の創出	8	2
物流・駐車対策	・路上・路外での荷捌き空間の創出 ・違法路上駐車を駐車場に誘導	6	1
有料道路の有効活用	・割引による利用促進 ・環境ロードプライシング	3	継続実施中
その他	・交通安全対策 ・道路管理の協働 等	8	0

【社会実験により本格実施に結びついた事例】

○渋谷地区端末物流対策アンド駐車マネジメント複合実験（平成 12 年 10～11 月）

- ・路上・路外の荷捌きスペースや違法駐車対策の社会実験を実施。
- ・平成 15 年度より「スムーズ東京 21」として違法駐車対策について本格施策化。



○松江商業地ボンエルフ実験（平成 11 年 10 月）

- ・商店街メインストリートを現幅員のまま 1 車線化する手法を官民協働で検討。
- ・平成 14 年 3 月に歩車共存道路の整備を完了。

